

医学部長挨拶

平成30年度 新入生オリエンテーション

日時：平成30年4月6日（金）10:00～11:30

場所：医学部百年講堂（大ホール）

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。九州大学医学部を代表して、心からお祝いを申し上げます。

意欲と希望にあふれる皆さんを、医学部に迎えたことを、大変嬉しく思っています。皆さんは、これから1年間伊都キャンパスで学んだ後、場所を馬出の病院キャンパスに移し、「未来の医学・医療を担うプロフェッショナル」となるための基本を身に付けることとなります。

医学の対象は「人間」です。すなわち、医学を学ぶことは、人間である自分自身の体の仕組みを学び、人間である自分自身の心の仕組みを学ぶことに直結しています。また、医学を学ぶことは、社会と繋がることでもあります。例えば、冬に人間社会に流行する「インフルエンザ」などの例からも解るように、健康と病気は社会の問題でもあるからです。

医学で学ばなければならない量は膨大で時に厳しいものですが、医学が自分自身を知ること、あるいは医学が社会を知ることと直結していることから想像がつくように、「医学を学ぶこと」はとてもエキサイティングで楽しい営みでもあります。

皆さんのこれからの4年間あるいは6年間は長いようで短く、瞬く間に過ぎ去ることと思います。そして、友、先輩後輩、師と巡り合うことと思います。

どうか出会いを大切にしてください。また、専門以外のことにも積極的に取り組み、広い視野を身に付けてほしいと思います。よく学びよく遊び、芸術・スポーツに親しみ、友と語らい、そして本を読みましょう。多角的に知性を磨くことはもとより、感性もしっかりと鍛えましょう。医学の問題は全て、多かれ少なかれ「如何に生きるべきか」という問いに重なってきます。

皆さんが大学生活を大いに楽しむとともに、これからの人生の基礎を築いてほしい、と切に願っています。

2018年4月6日

九州大学医学部長 住本 英樹